

インターバンクの声（2016 年 4 月 6 日）

たかが数銭、されど数銭だが、ドル円が遂に 110 円を割り込んで 1 年 5 ヶ月ぶりに 109 円台を付けた。テクニカル面を重視するディーラーはもとより、心理的な側面を気にするディーラーにとっても重要指標発表時と同じくらいイベント性のあるポイントを通過してしまった。中国経済の減速懸念や原油価格の下落、さらに米国の利上げペースが鈍化する見通しなど、被害妄想かもしれないが、市場からの材料のどこを取っても円買いに働いているようにも感じる。細かいところはチャートに詳しい同僚に確認しなければならないが、109 円から 107 円にかけては一旦ドル買いの動きが出てもおかしくない水準だ。ただ、ここを下抜けてしまうと次の目標水準はどう見ても 105 円から 102 円のゾーンになってしまう。昨夜、110 円を割る前のタイミングで伝わった米メディアでの安倍首相のコメントにどのような意図があるのか想定できないが、字面通りに受け止めてしまえば、もう少し円高が進んでも仕方がないということなのだろうか。2%の物価安定目標を達成するためにはどう考えても円安が有効なはずだが、何か安倍首相は円高を阻止できるような秘策でもあるのだろうか。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。